



ショートコメント

★★★

Data 2024-62

# ニューノーマル 뉴 노멀/NEW NORMAL

2023年/韓国映画  
配給: AMG エンタテインメント/113分

2024 (令和6) 年8月21日鑑賞

テアトル梅田

監督・脚本: チョン・ボムシク

出演: チェ・ジウノイ・ユミ  
/チェ・ミンホ/ピョ・ジフン/ハ・ダイ  
ン/チョン・ドンウォ  
ン

## みどころ

「昭和は遠くなりにはけり」の今、チョン・ボムシク監督によると、「ニューノーマルの時代」に入ったそうだが、そもそも、ニューノーマルとはナニ?そして同時に、オールドノーマルとは?

それはよくわからないが、ニューノーマルの時代にはスマホが必需品。若者にはマッチングアプリをはじめ、スマホの掲示板のチェックがまさにニューノーマルらしい。そんな物語がCHAPTER.2『正しいことをしろ』、CHAPTER.3『殺しのドレス』、CHAPTER.4『今 会いにいきます』だが、逆にCHAPTER.1『M』とCHAPTER.5『のぞき魔』は私にもよくわかるオールドノーマルの世界?

そう思っていると、なるほど、なるほど、CHAPTER.6『ろくでもない人生』の中で、4日間の間に起きた6つの物語が、あっと驚く意外なところで繋がることに・・・。

— \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \* — \*

◆ノーマル (通常、常態) に対するアブノーマル (異常) という英語は知っているが、ニューノーマル (新しい常態) とは一体ナニ?そして、本作はなぜそんなタイトルに?ニューノーマルを問題にするのは、きっとオールドノーマルとの対比においてだろうから、その疑問は同時に「オールドノーマルって一体ナニ?」と同じはずだ。

近時の若者映画は、スマホが主役のものが多い。本作のCHAPTER.2『正しいことをしろ』、CHAPTER.3『殺しのドレス』、CHAPTER.4『今 会いにいきます』、CHAPTER.6『ろくでもない人生』はすべて、主人公がスマホと語り合う中でそれぞれのストーリーが展開していく。したがって、私にとっては、これぞまさにニューノーマルだ。しかし、CHAPTER.1『M』とCHAPTER.5『のぞき魔』は、私見では、まさに「オールドノーマル」の物語だ。しかして、チョン・ボムシク監督が本作に込めた思いとは?

◆チョン・ボムシク監督が本作の構想を練ったのは2022年、つまり新型コロナのため映画

制作等が困難になった時期だ。冒頭「6月のソウルに雪が降った」という本作が創作した嘘のニュースが流れるが、それに続く、ソウル市内で次々と発生した異常殺人事件のニュースはすべてホンモノのニュースらしい。これを聞いていると、日本と比べて韓国はいかに治安の悪い国かと思ってしまうが、かつて『冬のソナタ』（02年）で名を馳せた女優・チェ・ジウが7年ぶりに映画復帰した本作のCHAPTER.1『M』では、なんとも生々しい映像が続いた後、あっと驚く結末が・・・。

本作が面白いのは、チャプターごとに日付を明示し、それぞれの物語がすべて2022年6月9日からの4日間の間に起きたことを明示していることだ。これは一体なぜ？そう思っていると、ラストに近づくにつれて、なるほど、なるほど。こういう仕掛け、こういう狙いだったのかということが見えてくるので、それはあなた自身の目でしっかりと！

◆CHAPTER.5『のぞき魔』はコメディ一色満載で、私見では、かつての日活ロマンポルノの雰囲気も備えている。就職浪人の男ギジン（ピョ・ジフン）が、なぜ1人であんな立派な部屋に住んでいるの？そんな疑問もあるが、お隣に独身のあんな美女が1人で住んでいれば、妄想が高まっていくのは、ある意味で当然だ。しかし、その行動がベランダからの侵入までエスカレートすると、アレレ、アレレ。この物語でも、あっと驚く結末に注目！

私が面白かったのは、CHAPTER.6『ろくでもない人生』に見るコンビニでアルバイトをして働く女性ヨンジン（ハ・ダイン）の姿だ。この物語も私にはバイト中の「オールドノーマル」の姿はお笑いいっぱいの中で十分理解することができたが、スマホのネット掲示板で「人を殺した」という書き込みを見つけた後、死体の分別方法についてあれこれとアドバイスする姿はまさにニューノーマルだ。しかし、掲示板の主から、彼の言葉を信じないヨンジンに対して、「証拠を残すから来い」と場所と時間を指定した書き込みが来るとヨンジンは・・・？なるほど、なるほど。てなわけで、全6話がどことなく、なんとなく、いやいやハッキリと繋がることに・・・。

◆本作を描く6つのCHAPTERの統一テーマは“孤立”。ソーシャルメディアに左右され、スマホが唯一の友人となった「ニューノーマルの時代」では、1人で食事するのが当たり前、そしてまた、誰もが死と隣合わせで生きていくのが当たり前の世界らしい。そんな時代にはスペインの画家ゴヤの「我が子を喰らうサトゥルヌス」の絵がいかにもピッタリだから、何度も登場するその絵に注目！

他方、映画音楽大好き人間の私でもよくわからないのが、CHAPTER.5『のぞき魔』の物語の中でシャワー中の美女が歌うBBGIRLS (Brave Girls) の『Rollin'』。これは本作ラストでも高らかに歌い上げられるが、私にはその歌詞や内容がわからないのが残念だ。しかし、Kポップが大好きなあなたなら、本作の6人の主人公たち、それぞれの“孤立”ぶりがよくわかるはずだ。

2024（令和6）年8月23日記